

みなとのもり公園

施設案内



災害用仮設トイレ

通路部分に62基のマンホールが設置しており、テントで個室をつくることで簡易トイレとして利用できます。震災時の避難場所で、水とトイレの不足に悩まされた経験から設置しています。



安全の鐘

JR貨物神戸港駅時代にここで使われていた時計と安全の鐘をモニュメント化し、公園になる前の記憶をとどめています。



多目的広場

平常時はバスケットボール場として、非常時やイベント時にはバックヤードとして活用できます。



ニュースポーツ広場

高架道路下有効利用の中心施設として、色々なスポーツが楽しめるように、実際に利用する方々の意見を取り入れて整備しました。



もり



公園づくりの大きなテーマのひとつである「もり」を公園をとり囲むように配置しています。公園の計画中からドングリを配布し、ご家庭で育てていただいた苗木を持ち寄り植え付けを行いました。

語り継ぎ広場



震災と復興の経験と教訓を後世に語り継ぐ場として、広場内には、「被災樹木」をはじめ震災や復興に関係するものを配置しています。

苗圃



公園内に植える花や樹木の育成、芝生のメンテナンスをする拠点としてつくられたヤードです。ガラスの温室をシンボルとして、もりづくりや花づくりを行う市民活動の場となっています。

芝生広場



平常時はスポーツや憩いのために、非常時には避難場所として活用できる、約1.2haの芝生広場です。この芝生広場では、多くの市民の方が参加し、芝生ボット苗の育成、植え付けを行いました。

ジョギングコース



1周約460mのジョギングコースです。インコース側には、ランニング用の特殊な舗装をしています。

備蓄倉庫



広域避難場所の機能として、展望の丘の地下に、非常時に必要な物資を備蓄する倉庫を設置しています。

展望の丘



公園の南端にある高さ約4mの丘で、頂上からは公園全体を見渡すことができ、六甲山系の景観を楽しむこともできます。